

For immediate release

Contact:

林原 麻里子
+81 3 4530 5623
mariko.hayashibara@barclays.com

バークレイズ・キャピタル証券、姫野良太を運輸担当アナリストに起用

【2012年4月2日、東京】 バークレイズ・キャピタル証券株式会社は、姫野良太(ひめの・りょうた)を株式調査部運輸担当アナリストに起用しました。

姫野はバークレイズ・キャピタル証券入社以前、直近までは三菱UFJ証券(当時:現在は三菱UFJモルガン・スタンレー証券)にて運輸セクターの調査を担当しました。また、それ以前は明治ドレスナー・アセットマネジメントにて運輸・公的・建設不動産セクターを担当しており、また三菱証券(当時)では営業にも携わりました。

姫野の入社に際し、バークレイズ・キャピタル証券株式会社の代表取締役社長兼CEOである中居英治は、次のように述べています。「バークレイズは国内で2008年に証券業務を立ち上げ以来、ビジネスの拡大を進めてまいりました。規模の拡大が実現する中、株式営業と調査とがさらに連携を進め、お客様のご要望に応える質の高いサービスの提供が必須となっています。姫野氏の入社は、この取り組みに沿うものであり、今後の活躍に期待しています」。

また、株式調査部長の千綿甲一郎は次のように述べています。「姫野氏はセルサイドでのアナリストだけでなく、バイサイドでの勤務経験を持ち、また営業担当としてもキャリアを築いてきました。これらの経験を、今後バークレイズでの調査の現場で生かしてくれるものと期待しています」。

バークレイズ・キャピタル証券の株式調査部は2008年の立ち上げ以来、順調に拡充を続けており、株式調査ランディング上位の有力アナリストと、当社生え抜きの若手アナリストとがバランスよく多数在籍しています。現在、21名のアナリストが214銘柄の株式調査をしています。

昨年は新規で自動車、リート、造船・プラント、商社、食品、非鉄金属といったセクターを調査対象に新たに加えました。今年は、昨年入社した大野東が3月下旬に証券・保険・その他金融セクターのカバレッジを開始しました。また、今年1月に入社したジェフ・伊串は、米系メモリモジュール製造を手がけるキングストンテクノロジーの日本代表を務めた経歴を持っています。事業会社での勤務経験を生かし、産業電機セクターを担当する予定です。

バークレイズについて

バークレイズは世界で事業を展開し、お客様に貸付、投資、資産保護のサービスを提供しています。バンキング事業では300年以上の歴史と卓越した専門能力を有しており、世界50カ国以上で展開し、約140,000人の従業員を擁しています。

バークレイズは世界の大手事業法人、政府、金融機関のお客様にニーズに応じた戦略的アドバイス、資金調達およびリスク管理に関するフルレンジのサービスを提供しています。お客様にはバークレイズ・グループ全体に幅広くわたる、金融に関する専門性をお届けしています。また、世界最大規模の金融サービス機関として、リテール・バンキング、クレジットカード、コーポレート・バンキング、ウェルスおよびインベストメント・マネジメントの事業も展開しています。

バークレイズ・グループは、バークレイズ・バンク・ピーエルシーを通じ、世界トップクラスの投資銀行サービスと金融商品をお客様に提供しています。